

【資料 I】

Q5-2 今のまま、税金でリサイクルを続けることに賛成ですか？

「賛成」「反対」の理由を記述する欄を設けたところ、下記の通り「賛成」30 件、「反対」83 件、「無記入」5 件の意見がありました。

税金でリサイクルを続けることに賛成の理由

■企業の責任

- ・ 民間企業には負担を求め、その額や条件を調整することによってインセンティブを与える方がよいと思う。
- ・ 他に実施できる組織体がない。本来は事業者が行うべきだと思うが。
- ・ 税金で行わないと、企業が行うことになるが、すべての企業が適正に行うとは限らない。

■自治体・税金で

- ・ 最終的には自治体が責任を負うほかないのではないか。
- ・ 必要のない包装はない方がいいが、その意味では、事業者責任が先だが、収集は自治体が責任持たないと、まだごみの分別に不安が残る。
- ・ 現段階では税金を使うことも必要。
- ・ やむを得ない？
- ・ 他が見つからない。
- ・ リサイクルに税金を使うことには賛成だが、企業はプラスチックごみに対して責任を持つべき。
- ・ 現状では、公金を利用して行わなければ実行継続は困難と思われます。
- ・ 税金以外では賄えないと思う。
- ・ 事業者によるリサイクルに期待できないから。
- ・ 対策がない以上、税金を使う。企業も解決策を。
- ・ 継続的に行なっていくためには税金が必要と思われる。

■受益者負担

- ・ 容器が高額になっても、廃棄まで費用なりを負担すべき。業者及び消費者がすべきだと思う。
- ・ ごみを出している人が、税金という形で責任を負うべき。

■その他

- ・ 公害のない物質。
- ・ 国が努力をすればできると思う。

- ・ リサイクルで違う製品になり、それを利用する。
- ・ プラスチック製品を回収しなければ自然が汚染されてしまう。
- ・ 商品価格に影響がでそう。
- ・ 消費者は便利さばかりを求めてはいけない。
- ・ ある程度必要。個々ではリサイクルしなくなる。
- ・ 通常のごみ処分と予算何%か入れてリサイクルに回す。あるいは施設を作る。例えば、細分化する施設、溶解施設など。⇒業者に回すといくらか分かる。事業者には事業排出するお金の何%か上乘せする(紙・ペット・缶・ビン etc.)。
- ・ ある程度やらなければあふれてしまう。
- ・ プラスチックに代わる資材はあらゆる製品に対して開発される必要があり、その代替が市場に根付くまでは、一部、税金や制度で対応する必要はある。
- ・ 事業者に環境について考える機会が与えられることで、より早い環境汚染への対応につながると思う。ただし、不当投棄等につながらないように対策をしなければいけないと思う。
- ・ リサイクルやごみの回収は自治体の業務だと思う。そうでないと適切に行われないリスクが上がってしまう。ただし、値段を上げて負担を増やしていくべきだと思う。
- ・ 個人個人や企業もそれぞれの立場でも考えていく必要もあると思う。
- ・ 一般市民に認識させるためにも、また、新たな税金を徴収しても、国全体で推進した方がよい。

税金でリサイクルを続けることに**反対の理由**

■企業の責任

- ・ 拡大生産者責任を法制化し、消費者もプラスチックを極力使わない努力をすべき。
- ・ 事業者にもっと責任を持たせるべきだと思います。
- ・ 企業にも責任を負わせるべき。
- ・ 製造者責任、汚染者負担の責任の徹底を。
- ・ 発生抑制はEPRが基本である。
- ・ ごみを減らすには、拡大生産者責任に基づいた施策の方が効果的だと思う。
- ・ 事業者へ廃棄・リサイクル段階まで責任を持たせる拡大生産者責任という考え方を支持します。
- ・ 拡大生産者責任の考え方を徹底し、製造から廃棄まで事業者が責任すべき。税の投入は不公平である。
- ・ 企業にも負担させるべき。
- ・ 事業者が責任を持つべき。
- ・ 拡大生産者責任を徹底すべきである。

- ・ 事業者の拡大生産者責任とするべき。
- ・ 事業者責任を課すべきと思う。
- ・ 製造メーカーにも責任があると思う。
- ・ 事業者の負担を入れるべき。
- ・ 税金を使ってでは、生産者が痛みを感じず、削減の方向に行かないので。
- ・ 事業者にも責任の一端を担ってもらう法律が必要と思う。
- ・ 事業者には、最初から最後まで責任を負担させるべき。それで事業が成り立たなければ、撤退すべき、させるべき。
- ・ 企業にももっと考えて責任を持たせてほしい。
- ・ 事業者にも廃棄リサイクル段階まで責任を持たせる拡大生産者責任を進めるべきです。
- ・ 事業者にも応分の負担を求めるべき。
- ・ 企業がもっと環境に配慮して容器を開発する、もしくは出さない努力をもっと進めて欲しい。
- ・ 生産する側がリサイクルの費用を持つべき。
- ・ 企業が考えるべきだ。
- ・ 事業者は生産者として、排出・廃棄まで責任を持つ必要がある。それが製品の価格に反映されるべきだと思う。
- ・ 家電製品の価格に廃棄費用を入れなかったため不法な投棄が横行している。それを防止する意味でも、プラスチック容器にも処理費用を価格に上乗せして、業者に処分されるべきでは？
- ・ 事業者にも金銭的に課した方がよいと思う。
- ・ 排出者責任が明確にならず、企業のごみ減量への意欲が育たない。
- ・ 本来、事業者に課すべきと思うが、その費用が消費者に負担が及ぶ可能性もある。しかし、環境を考えた取り組みを事業者が行うべきと思う。
- ・ ある程度の税金の利用は、やむを得ないかもしれませんが、企業に負担を負わせ、容器のリサイクルなどについて責任を持たせた方がいいと思います。
- ・ 企業の自助努力につながらないから。
- ・ 生産者がフルコースで責任を持つ仕組みにしないと改善されない。
- ・ 税金で処理していたのでは減らない。消費者も事業者も便利な方に流れるので。
- ・ 企業に容器処理費用等を負担させ、省資源の方法等を企業に考えさせた方がいい。
- ・ 事業者にも役割を担ってもらえば、生産の抑制やもっと真剣な良い方法を考えると思う。
- ・ 税金だけということに反対。企業にも負担してもらう方法等考えたらどうかと思うので。おそらく、販売価格に企業負担分が上乗せられると思うが。
- ・ 生産者が責任を持つようにした方がリサイクルが進みそう。少しずつ移行できたらよいと思います。
- ・ 税金で処理するとメーカーの責任感が薄くなるのではないか。

- ・ メーカーに応分の費用負担をさせ、ごみ削減の努力をさせるべき。
- ・ 事業者のために(コストをかけて考えない、取り組まない)税金を使い続けることは、企業の社会的責任を追及しないことになるから。
- ・ 事業者にリサイクル段階までの責任を持たせることはあたりまえで、大事なことだと思う。

■自治体・税金で

- ・ 税金ではなく、消費者と企業で考えるものと思う。
- ・ 容器包装ごみは税金でのリサイクルでは減らないと思う。
- ・ 人任せにしないで、自分たちで税金を使わないでやれるようになればいいですね。
- ・ 今後、人口が減り、税収が少なくなる。税金の支出は、なるべく抑えるべきと考える。
- ・ このまま税金を使い続けると、リサイクルにコストがかかっているということに無感覚になりそう。

■受益者負担

- ・ 商品に上乗せする方法だと分かりやすい。
- ・ 使った人がかかった費用を負担すべき。
- ・ 購入者及び生産者が支払う仕組みに変えていく。
- ・ プラスチック容器を出さない人にとって、税金でリサイクルをするのは不公平。受益者負担にすべき。
- ・ 容器を売った事業者とそれを買った消費者双方がリサイクルに関わる費用を負担すべき。買わない人の税金を投入する必要はない。
- ・ 事業者に責任を持たせ買った人にも責任を持ってもらおう。
- ・ プラスチックに限らず、ごみについては生産者・消費者ともに課税してよい。
- ・ 全く税金を投入しないのは反対。生産者責任、使用者責任で応分に負担すべき。
- ・ ごみを出さない努力をしている人の税金が湯水のごとくプラスチックを使っている人が出すゴミを処分するのに使われているなんて理不尽。

■その他

- ・ リサイクルをするという前提ではなく、リサイクルを市内で済むよう抜本的な取り組みが必要。どうしようもない物については、当面税金でやらざるを得ないが。
- ・ リサイクルしなくても良いものに変えて欲しい。
- ・ 一人ひとりがリサイクルできるものを分けて、ごみを減らすことを考えるべきだと思います。
- ・ リサイクルは、あまり意味がなく、止めるべき。
- ・ プラスチック容器は、すべて焼却処理するのがよい。
- ・ 優先順位が低いリサイクルではなく、教育や社会制度に税金を使うべき。
- ・ リサイクルの前にもすることアリ。蛇口を閉める⇒拡大生産者責任。私たち、一人ひとりの

自覚。

- ・ リサイクル費用と自覚できる方がよい。
- ・ 不公平だから。
- ・ このままだとさらにリサイクルのための費用がかかり、税金がより使われることになる。国民の負担が増える。根本的にプラ製品を使わない方向で動くべき。
- ・ 容器包装リサイクルの責任を個々人が感じにくいと思います。
- ・ サーマルリサイクルに偏ると温暖化を悪化させる懸念がある。
- ・ 過剰な容器や包装を止めた方がよいと思う。例えば、野菜等、大葉やミョウガのトレーは必要なし。
- ・ 自分のお金が関わらないと関心を持たない。
- ・ 根本的な解決策になり得ない。
- ・ 消費者が使い手としての責任を、ごみを分別しているという意識・行動で満足し、使い続けるという視点を持たないことが問題。
- ・ 自治体で集められた容器、特にプラスチックの再生への道筋が消費者に伝わっていないことが問題。
- ・ このアンケートを通じて、質問5のようなことを知った。その上で税金の使い方を考えるべき。
- ・ 個々に考えるべき。
- ・ 事業者に発生抑制などの取組をさせない一因となっているのであれば、行政として対応を変えるべきだと思います。
- ・ 自治体に任せることで個人の意識が低くなる。
- ・ 検討、議論の余地があるのではと思う。
- ・ リサイクルの効率化も含めて考えると、民間への負担の移動はごみの削減のためだけでなく、必要なことと思う。
- ・ これからさき、人口が減っていく一方なのに、税金だけで賄うには無理がある。(191)
- ・ リサイクル費用を事業者負担とすることで、容器包装削減へのインセンティブにできるのであればそうしてほしい。
- ・ 何でも税金をかければよいというものではない!!(231)
- ・ 製品と造る段階から環境に配慮しなければならないと思います。
- ・ 限られた税金でリサイクルを続けることは難しいと思う。税金ではなく、他の方法でリサイクルできたらよいと思うから。

無記入

- ・ 全てを企業が負担することは難しいとしても、企業負担が無いことには、当事者意識としてスピード感を持って進まないのではと感じます。
- ・ どちらともいえない。税金を使い自治体がやることで続いている部分もあると思う。止め

るのであれば、事業者が責任を持つという方向性を確立することが必要では。

- ・ 判断しかねる。どちらともいえない。
- ・ どちらともいえない。企業や個人では責任を持ってできる場合とできない場合があると思うから。また、同水準でできるか不安。出荷規模により事業者にリサイクルにかかる費用負担をしてもらう。
- ・ 拡大生産者責任となると、その費用は商品価格に上乗せになる。税負担でも、消費者負担であることに変わりはないと感じる。